赤磐市報道提供資料

令和８年 11 月 12 日

総合防災訓練を実施します

赤磐市地域防災計画に基づき、南海トラフ巨大地震と豪雨災害による複合災害の被害を想定し、災害対応能力の向上と連携の強化、防災意識の高揚を目的として、下記のとおり総合防災訓練を実施します。

記

１　日　時　　令和８年 11 月 15 日（日）　９時 30 分～12 時 00 分

２　場　所　　赤磐市赤坂ファミリー公園　グラウンド
（赤磐市今井 67-１）

３　内　容　　地域住民、関係機関が参加する実践的な連携訓練を行う。

４　その他　　詳細は添付の資料をご覧ください。

（問合せ先）
総務部　くらし安全課　西野
電話：086-955-2650（直通）

令和８年度赤磐市総合防災訓練実施概要

１　目　的

この訓練は、南海トラフ巨大地震及び豪雨災害による被害を想定し、赤磐市地域防災計画に基づき、災害対応能力の向上と連携の強化及び防災意識の高揚を図るため、地域住民と防災関係機関が一体となった実践的な連携訓練を実施する。

２　実施日時・場所

(1) 日　時　　令和８年１１月１５日（日）9時30分～12時00分
(2) 場　所　　岡山県赤磐市今井６７－１
　　赤磐市赤坂ファミリー公園

３　訓練想定

令和８年１１月１５日（日）午前９時３０分、南海トラフを震源域とするマグニチュード９クラスの地震が発生し、赤磐市内においては最大震度６弱を観測した。

この地震により、赤磐市内の全域において建物等の倒壊、車両の衝突事故、火災、土砂崩れなど多くの被害が相次ぎ、電気、ガス、水道等のライフライン施設にも大きな被害が生じている。

また、連日の降雨により河川の増水や氾濫、浸水や土砂崩れによる新たな災害発生のおそれもある。

４　訓練項目

赤磐市地域防災計画における風水害及び地震応急対策計画の実効性の向上に資する実践的な次の各種訓練を実施する。

訓練項目	実施内容
(1) 初動体制等危機管理体制の検証、情報収集伝達訓練	地域防災計画に基づき、関係機関相互の連携と協力体制の確保に努めるとともに、情報の混乱防止に配慮した迅速かつ的確な情報の収集・伝達及び広報訓練を行う。 ①情報収集伝達訓練 ②広報活動訓練 ③無人航空機による被災状況及び情報収集
(2) 自主防災訓練	自主防災組織を中心とした地域住民等の連携による地元密着型の防災対策訓練を行う。 ①情報伝達訓練 ②市民参加型による防災レクリエーションン

(3)応急対策訓練	防災関係機関は、保有する緊急車両、資機材等の特性と機動力等を活かしつつ地域での一体的な連携のとれた共同訓練を行う。 ①災害対策本部等設置運用訓練 ②救助救出訓練（倒壊家屋） ③災害医療対応訓練 ⑤水防訓練（改良積土のう工法） ⑥給食給水訓練 ⑦浸水防除訓練（可搬型排水ポンプ、発電機） ⑧災害協定先への緊急の提供要請 ⑨無人航空機を用いた被災者探索
(4)ライフライン復旧、物資の調達・輸送訓練	防災関係機関等が一体となって、ライフライン等の確保、物資の調達、輸送等の円滑化に向けた訓練を行う。 ①道路啓開（土砂排除）訓練 ②水道管応急復旧訓練 ③支援物資の調達・輸送訓練
(6)防災展示・体験訓練	災害用特殊車両・防災物品の展示及び各種体験訓練を通して防災意識の啓発と高揚を図る。 ①防災アプリの紹介 ②特殊車両等の展示 ③防災物品等の展示 ④被災地支援の活動紹介など

5　訓練中止

訓練は、小雨決行とし、次の場合は訓練を中止する。

(1) 訓練当日、赤磐市地内で震度４以上の地震が観測され、警戒体制（警戒本部）が継続している場合。

(2) 市内にレベル３「大雨」、「氾濫」、「土砂災害」警報が発令されている場合、また、気象警報が解除された後でも、警戒体制（警戒本部）が継続している場合。

(3) その他、訓練実施が困難と予想される事態の発生の恐れがある場合、又は発生している場合。

(4) 訓練の中止は、訓練当日午前７時までに決定し、電話、ＦＡＸ及び防災行政無線等により、市民、訓練参加機関に周知する。

6　服　装

(1) 市職員

ヘルメットに作業服等とし、防災活動に適した服装とする。

(2) 防災関係機関等

上記に準じて各機関の計画による。